



ライフケア 広報誌

木もれ陽

No.54

2014.秋号

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である



みなみがた荘の皆さんの作品

岡山済生会ライフケアセンター

～都市に憩う高齢者の住まい～

福祉の理念「高齢者や障害者が社会から分離されることなく共に生活できる社会が正常である」及び介護保険の理念「利用者本位、高齢者の自立支援、利用者による選択(自己決定)」に基づき、利用者個々の意思を尊重し、高齢者のケアに配慮しながら自立した生活ができるよう援助することで、高齢者が社会の一員として「共に生活」できる環境づくりと「やすらぎと潤いのある施設」づくりを目指す。

基本理念

利用者本位・笑顔で接し利用者と「共に生きる」

利用者本位の姿勢で利用者には笑顔で接し、利用者の意思を尊重し、利用者が穏やかな生活が送れる環境と「やすらぎと潤いのある施設」づくりに努め、利用者と「共に生きる」気持ちで接する。

高齢者の自立を目指した援助

利用者の生活に総合的に関わり、利用者個々の生活障害に応じた援助を行い、利用者が自立した生活を維持できるように援助する。

利用者が社会の一員としての地域連携

地域住民と利用者が一体化する環境づくりと、利用者の社会参加を推進し、地域に開かれた施設づくりと施設の社会化を目指す。

これからの 行事予定

12月 クリスマス会
餅つき大会

12月 新年互礼会
新年仮装カラオケ大会

その他
各施設誕生会
昼食バイキング

施設全体行事

《平成26年度 敬老の日記念式典 9月15日(月曜日)》

平成26年度「敬老の日記念式典」が、地域交流やすらぎホールにおいて、入居者、ご家族、職員の出席により盛大に開催されました。前田ライフケアセンター長のあいさつの後、めでたく満百歳を迎えられた入居者に「内閣総理大臣からの賞状と銀杯」が贈られました。また、入居者全員に紅白まんじゅうと支部岡山県済生会からの記念品が贈られました。

式典の後は、引き続き行われた「琇踊会」の皆様による演芸で楽しい時間を過ごしました。

敬老会



いつまでも
お元気で!



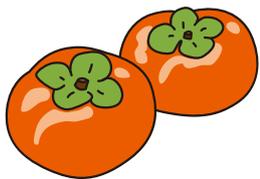
満100歳(銀杯)
介護老人保健施設「なでしこ宛」 木口濱江 様
介護老人保健施設「たちばな宛」 橋本小葉 様
介護老人保健施設「たちばな宛」 江口晴枝 様

おめでとうございます。



祝いの舞 「琇踊会」





風船バレー大会 (10月15日)



優勝

やよいの里

準優勝

デイサービスセンター



七つの子

(複合施設を童謡の題名に例えて表現しました。) この「七つの子」では、各団体のご協力のもとで行われた行事を中心に、ご紹介していきます。



◆舞の会(8月18日)◆



◆あすなろ腹話術会(9月30日)◆



◆若浪会社中(10月20日)◆



◆石田社中(10月20日)◆

やよいの里通信

軽費老人ホーム(混合型特定施設)

お月見茶会

やよいの里では、9月18日に毎年、秋恒例のお月見茶会を開催しました。今回は、ボランティアでダスキンヘルパーステーションの方々協力してくださり、いつもとは違った雰囲気のお茶会となりました。今回はすべて、ボランティアさんがプログラムを考えてくれて、私達職員はお手伝いとしての参加です。

- ・スライドショー
- ・日舞
- ・お茶会
- ・ボランティアさんの談笑や歌



スライドショーは、岡山に関する昭和史です。ボランティアさんの説明を聞きながら鑑賞したのですが「懐かしいね。あった。あった。昔はそうだったね」思わず声が出ます。次は、きれいな着物姿で舞を見せてくれました。着物姿を見るなり、わあ！かわいい！って言いながら、なんか孫を見ているようなやさしい視線を送っていました。そして、お抹茶と茶菓子を楽しんでもらいながら、談笑が始まります。茶菓子は品のいい5種類の菓子をを用意しまして、何が出てくるかのお楽しみです。お出しすると、周りをキョロキョロ、「それも美味しそうね」なんて声が…。懐かしい歌を用意してくれていたのので、みんなで歌って、その後は、しばらく話に花が咲きます。

私はというと、お茶を教えてもらいながら準備をしてお手伝いをしていたのですが、にぎやかで笑い声がたくさん聞こえてきて、楽しそうなのが伝わってきて、なーんかうれしかったです。茶会が終わった後、「ありがとう。よかったわ」って言うてくれました。この場を借りて、ダスキンさん、ありがとうございました。ぜひ、来年も！

介護職員 山下 のり子

～やよいの里最新情報～

秋の風船バレーボール大会で優勝しました。次回もがんばりますよ、と言っていました。



なごみ苑通信

有料老人ホーム(混合型特定施設)

お楽しみ会

10月10日(金)に、お楽しみ会を開きました。

10月の誕生日の方がいない為、お誕生日会の代わりに行いました。

毎月、職員と入居者様によるゲーム、歌など出し物をして楽しい時間を過ごすのですが今回は『あっち向いてホイ!!』をしました。

まずは2人で向き合ってジャンケンをします。ジャンケンに勝った人は負けた人に向かってあっち向いてホイ!、指と同じ方向に向いたら負けです。

ヘルメットに見立てた洗面器で頭を守り、勝った人はピコピコハンマーで叩きます。皆さんも良く知っているゲームだと思いますが



以外にも大盛り上がり! 職員VS職員の対戦では頭を隠す前に体をのけぞらしたり、顔を隠したり

り???職員VS入居者様の対戦では指でなく自分の顔であっち向いてホイをしたり、あっち向いてホイをせずいきなり頭に洗面器をかぶったり???1動作1動作大爆笑☆☆

余りにも盛り上がったので来月の誕生日会でもぜひ、と言う話になりました。また珍プレー・好プレーの白熱した戦いが見られることだと思います♪

**なごみ苑 秋の大運動会**

10月23日(木)14時よりやすらぎホールにて、なごみ苑恒例の秋の大運動会が行われました。会場には万国旗も取り付けられ、運動会気分も盛り上がり準備万端です。まずは紅組・白組代表の選手宣誓が行われました。紅白のチームに分かれ、鉢巻きを締め、いよいよ競技の始まりです♪♪まずは、風船送り・輪送りが行われました。輪送りは足に輪をひっかけ足だけを使い隣の人に送ります。どちらのチームも真剣そのもの(汗)応援の職員も声を枯らして声援を送ります。風船送りもスピード感あふれる勝負が行われました。



次に、せんべい食べ競争です。竿にぶらさげたせんべいを口だけでひっぱって取る競技ですが、なかなか取れない利用者さんもいて、ひととき大きな声援が送られました!!

恒例のあめ食い競争は、利用者さんも飛び入りで参加し顔を小麦粉で真っ白にして頑張りました(笑)



後半戦は、紅白にわかれての応援合戦です。鳴り物や、ポンポンを振って三・三・七拍子で盛り上げます!!そして最後の競技は玉入れです。皆さん、制限時間ぎりぎりまで必死の玉入れが続きます。二回戦とも紅組が勝利し、総合優勝も紅組となりました♪

皆さん、たくさん体を動かし、大きな声で応援し、スポーツの秋を堪能された様子でした。

来年もご参加をおまちしていま〜す☆☆☆

介護職員 井戸 富美子・渡邊 由美



家族会を開催しました



10月17日(土)、当荘では数年ぶりになる家族会がショップスペースで開催され、長期入所者63名のうち、20名のご家族様、計21名が出席されました。みなみがた荘での日頃の生活の様子についてご家族様へ伝えられる良い機会作りにと、2ヶ月程前から下準備を始め、座席の配置や、プログラム内容等について多種職間で話し合いました。ご家族へ見て頂く写真の編集やプログラム、パワーポイントの作成等は大石事務長が手際よく作成して下さい、当日を迎えました。

「上手くいくかな?」と不安もあった中迎えた家族会の当日は、14時開始にも関わらず、早々と30分前からご家族の来荘が次々とありました。森本部長の軽快な手品を交えた挨拶で始まり、会場の緊張感も取れ、和やかな雰囲気では進行されました。



職員紹介の後、まず初めに山本理学療法士による「今からできる!介護予防」という題で交流講座が行われました。みなみがた荘で行われている機能訓練のご紹介を始め、介護保険制度や支援・介護が必要になる因子、介護予防についての説明をパワーポイントを使用して行いました。講義の後半には、実際にご家族様へご起立頂き、一緒に介護予防の為のエクササイズを行いました。片脚立ち、スクワット、カーフレイズ、フロントランジといった下肢を鍛える運動ですが、高齢のご家族も大半を占める中、皆さん比較的安定した動作で行われておられ、びっくりしました!!職員の方がふらつく姿が多く見られ、「負けてられないな～」という気にさせられました!!



続いては、プロジェクターに映し出された写真を用いて、工藤介護主任より日頃の施設での生活の様子をご家族へお伝えしました。一年を通しての行事や、みなみがた荘独自のクラブ等、日頃ご家族に見て頂く機会の少ない事もお伝え出来たかと思えます。最後に、みなみがた荘での食事についても同じく写真を用いて、佐々木管理栄養士科長より説明させて頂きました。私たちの生活に欠かせない食事を、行事の御馳走を交えて、常食・柔菜・きざみ・ペースト食に分け、其々栄養や彩を考え献立し、提供させて頂いていることが分かりやすくお伝え出来たかと思えます。

14時~16時過ぎ迄、2時間余りの家族会でしたが、会の中の10分休憩には、御家族間同士の話が盛り上がった様に見えました。終わってからの意見交換の場等の時間もあれば良かったかなとも思えます。

お忙しい中、御参加頂いたご家族の皆様、ありがとうございます!!又、準備に携わって下さった職員の皆様、お疲れ様でした!!ご家族より頂いたアンケートを元に、今後も、より良い介護施設を目指して職員一同、日々勉強していきたいと思えます。

生活相談員 高橋 紅里

なでしこ苑通信

介護老人保健施設

秋の遠足

朝晩寒くなり、冬はもうすぐそこという今日この頃ですが、9月末より、なでしこ苑では秋の遠足が始まりました。今回の遠足では、近くのカルチャーホテル、少し遠出してレスパール藤ヶ鳴の二ヶ所に分かれていきました。

ライフケアから出発したバスは意気揚々と秋の青空の下を進んでいきました。途中、バスから見える桃畑や葡萄畑に、利用者様は「美味しそうやねー」「食べたいなー」…(うん、感想は色気より食い気か…(笑)これが食欲の秋ってことなんですわね♪



紅葉しかけている木々には、さほど目もくれず、バスの中では今日の遠足先での食べ物の話が花咲いていました。「今日はケーキか、どんなんじゃろうな?」「飲み物はなになかー」食べ物に期待を膨らませて、着きましたはレスパール藤ヶ鳴!目的地についての最初の感想は…「人、多っ!!」土曜日に遠足に行った為、家族連れが多く混雑していました。人混みをかき分けて、4階にある喫茶店を目指す私たち…。

道中、半分うつむきかけていた私たちの目の前に、これから美味しい物が食べられるという高揚感と、目の前に広がる飛行場の景色に思わず顔が上がりました。その矢先に東の空から飛行機がヒュ〜ンっと降りて来て、「おー、来た来たー!」と利用者様も大喜びで観ていました。そしてティータイムになると、ウェイトレスが運んできたケーキやコーヒーに、「おー、来た来たー!!」「待ってました!」と飛行機が来た時以上に歓声が上がりました。初めて空港に来る利用者の方も居られて、食べている最中に降りてきた飛行機には、手を止めて歓声を上げる利用者の方がチラホラ…。タイミングよく二機も見ることができたのに、二機目はヒュ〜ンっと軽く流されてしまいました。

遠足の感想を聞いてみると、「いい天気恵まれて、久しぶりにドライブもできて楽しかったな〜。なんといっても美味しいもんが食べられて良かったわ〜。」今年、90歳になる利用者様は「あと10年は生きられるわ!」なんて頼もしい発言でしょうか!

個人的には、着陸ばかりだったので離陸する飛行機が見たかったと思いました。

利用者様の感想で、あれっ…飛行機は?って少し思いましたが、利用者様に楽しんでもらえて良かったです♪さ〜、次は何処に遠足に行きましょうか!

介護職員 三上 美佳

たちばな苑通信

介護老人保健施設(ユニット型)



〈2階〉運動会

スポーツの秋と言うことで2階では、「秋の運動会」を開催致しました。会場には色とりどりの万国旗が張られ準備は万端!アップテンポの運動会ソングと共に、運動会は始まりました。国歌の斉唱、10月のお誕生日の方による開会宣言、ラジオ体操に続いて、玉入れ競争、パン喰い競争と運動会のボルテージは最高潮!

玉入れ競争では、より多くの玉を玉かごへ!と皆様ねらいを定められ、紅白の玉は次々と玉カゴの中へ入っていきます。たんぼぼユニット、すみれユニット、どちらの玉カゴも、紅白の玉でいっぱいになりました。

続いての、パン喰い競争では、吊るされたパンを出来る限り手を使わず、口のみで、より早くパンを獲得する競技ですが、試行錯誤をされ、獲得されたパンを召し上がられ、「やっぱり頑張った後の甘い物は格別ネ♥」との一言には、会場内の全員が同感していた事でしょう…笑

10月のお誕生日会、秋の運動会に参加して下さった皆様、お疲れ様でした。そして沢山のご協力を本当にありがとうございました。来年も、是非!運動会を催したいものです。これから、寒さが日一日と増し、冬が到来してしまいますが、体調を崩さぬようお元気にお過ごしください。

介護職員 森安 亜希



〈3階〉ハロウィンパーティー

トリック・オア・トリート!!!今年もハロウィンの季節がやってきました。日本ではあまり馴染みがありませんが、海外では毎年10月31日になるとおばけの仮装をした子供達が近くの家を訪れてお菓子を貰う風習があります。もともとは秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事だそうです。皆様がよく見かけるカボチャのおばけはジャック・オー・ランタンと言ひ、怖い顔や滑稽な顔を作り悪い霊を追い払う物として、最もハロウィンらしいシンボルです。

3階では誕生日会の出し物として、仮装をした職員でダンスをしました。ドラキュラに魔女に幽霊。皆様は誰が何に変身したかわかりましたか? (笑)ダンスのほうはとても上手いとは言えないものの、皆様の温かい笑顔と拍手に救われ無事に踊りきる事が出来ました。次は皆様にも仮装をして参加していただくのも面白いかもしれませんね。

今年も残り少なくなってきました。風邪に気をつけて元気に過ごして下さい。

介護職員 上田 悠人



〈4階〉園芸クラブ

朝晩寒くなり、ようやく秋らしい気候になってきました。たちばな苑4階では園芸クラブをしており、4月中旬に利用者様と苗の買出しに行き、5階の菜園に植えていたさつまいもが収穫時期となり、10月初旬に芋掘りを行ないました。「今年はどんな芋かな?」「沢山あるかな?」と利用者様も一生懸命芋蔓をひっぱりながら収穫して下さりました。今年は昨年より比べ大きい芋が収穫でき、豊作でした。利用者様も「こんな大きな芋が収穫できた」と喜んで下さいました。そして、10月中旬「喫茶たちばな」を4階の利用者様を対象に実施しました。今年は収穫したさつまいもを使用したスイートポテトを作りました。喫茶店ということなので、ちょっとオシャレなスイートポテトにしてみました♪また、ペースト食の方にはさつまいもの冷製ポタージュを作りました。ポタージュには隠し味に蜂蜜を入れてみました♪コーヒーや紅茶と共にお出しすると、あっという間に完食されました。利用者様より「とても美味しかった」「焼きたてでよかった」「1個じゃ足りないわ」という言葉を頂き、また機会があれば実施していこうと思っています。

現在は菜園に水菜・大根・にんじん・小蕪・白菜を植えており、次回はこれらの野菜を使用して何か出来たらと考えています。次回も楽しみにしててください!!

介護職員 藤原 さゆり



デイケア通信

通所リハビリ

秋祭り

9月9日に、ライフケアセンターで秋まつりがありました。 デイケアでは、色々悩んだ結果、今回フルーツサンドと高菜ロールを出店することになりました。出店するにあたり、職員みんなで食べたい食べ物をだしました。色々意見はでましたが、最終的に試食をしてフルーツサンドと高菜ロールに決まりました。

まず下の写真に写っているように食べやすくカットしかわいらしくラッピングしました。

いかがでしょうか？

みなさん日頃あまり食べられない物なので珍しく「こんなの食べたことないわ」「これに高菜が入っているの？」

「いろんな果物が入っているね」「こんなパン食べたことないわ」と色々な感想を言われて楽しそうに食べられていました。

なかには、「衣装も、かわいいわね!(^^)！」と、携帯電話のカメラで撮影されるかたもいらっしゃいました。職員も頑張った甲斐がありました。

日頃食べられない物を食べて、みなさんととても、満足された顔でした。

職員も、みなさんの笑顔を見るとやって良かったなど実感しました。

次回もみなさんが喜んでもらえるようなものを考えていきたいです。

介護職員 吉村 由起



デイサービス通信

通所介護



クッキング「柚子味噌せんべい」



10月17日におやつ作りをしました。ホットケーキの素に卵・牛乳・柚子味噌・白ごまを混ぜた生地を、ホットプレートで焦がさないように、ヘラで押さえて両面をじっくり焼いたら出来上がり。

女性の方々は「昔はエプロンなんてなくて、レースの付いた白いかっぽう着だったのよねえ」「そうそう」と会話が弾む中、手際よく調理は進み、「食べるの専門だよ」と少し離れた所に座っていた男性に、もう一度声を掛けると以外に乗り気で「料理なんかしたことないぞ」と言いつつ、女性顔負けのヘラの返しさばきでした(笑)

みんなで作った温かいおやつは大好評でオヤツタイムは大盛り上がり。今後も季節に合うオヤツ作りを、企画していきたいと思います。



秋の運動会



毎年、恒例の運動会を10月27日に開催しました。紅白に分かれ、スーパードリレ・ボール送り・パン取り競争と、白熱した力のこもった競技が続き、勝敗がつく都度一喜一憂し、職員や実習に来ていた学生で挑んだ、飴食い競争やまっ茶早飲み岡山から倉敷まで駅名言えるか競争、そして仮装競争を観戦。

真っ白な粉だらけの職員の顔に、かわいい(?)東京のバスガール姿の男子学生に大笑い。白組が勝って賞状を持ってにっこり記念写真を撮りました。

「何の競技が一番楽しかったですか?」と聞くと「全部楽しかった!」と一斉に答えてくださいました。又、来年もお楽しみに。



カラオケタイム



昼食後、ソファーに座ってゆったりカラオケを楽しむのがデイサービスでのみなさんの日課です。得意のカラオケを口ずさむ方や、上手な歌が心地よい子守唄になってウトウトする方もいて…楽しみ方は人それぞれ(笑)

デイサービスご利用の国里さんよりソファーを寄付していただき、楽しい時間がより一層充実しそうです。ありがとうございました。

看護職員 坂本 奈保子



親睦会通信

職員親睦ビアパーティー



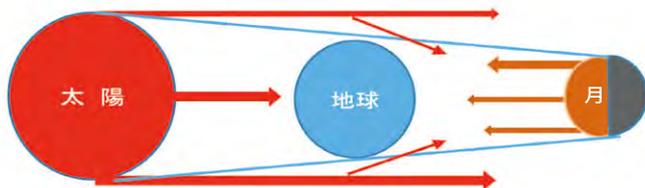
8月4日・8日の両日でライフケアセンター親睦ビアパーティーがメルパルクOKAYAMAで開催されました。大勢の参加の中、テーブルには沢山の美味しい料理・ビール・焼酎などが用意され、食べたり飲んだりしながら賑やかな笑い声が聞こえるビアパーティーになりました。そして恒例のビンゴゲーム大会はステージの巨大なスクリーンで行われ、迫力満点。出る数字が全て豚豚(トントン) 拍子で穴が開く初めての経験でした。そして「なんとびっくり!!!」開始10分程でリーチ&ビンゴ!!! 気が付けばステージにあがり、景品の空気清浄器をしっかりと抱え満面の笑みになっていました。その後は、カラオケの歌声が途切れることなく続き、各施設の芸達者な職員が次々にステージにあがり素晴らしいパフォーマンスを披露!! 我が「みなみがた荘」からは森本施設長の18番“涙のリクエスト”、「誰だ? 誰だ? だれだ~?」の歌詞に合わせて、「大石だあ~!」と意外な一面を見せた大石事務長参加の“ガッチャマン”、そして最後に“六甲おろし”(ちなみに私の心の中は阪神ではなく、巨人なのになあ~と思いながら)を職員、参加された皆さんと一緒に盛り上がり歌う事が出来て、とても楽しいひと時を過ごすことができました。ライフケアセンターの職員皆様がひとつになって過ごすビアパーティーは本当に楽しいですね。来年も楽しみにしています、皆さんお疲れ様でした。

みなみがた荘 介護職員 工藤 富美恵

トピックス

皆既月食 (※次回: 平成27年4月4日)

月は太陽の光をはね返して光っています。太陽と月の間に地球が入ると、太陽の光がつくる地球の影が月にうつる。地球の大気などの影響により光の乱反射がおこり赤銅色に見える。



平成26年10月8日(水) 20時24分頃
岡山県総社市 東経: 133° 45' 北緯: 34° 40'

撮影・文: 服部 豊

研修会報告

看取りのケア研修会に参加して

講師済生会訪問看護ステーション黒崎美由紀看護師により8月25日「終末期ケアのあり方」と題して研修会が行われました。

看取りケアの問題は死について考えるとき誰も自分の経験として語れないこと、死へのイメージがマイナスのイメージであること、しかし誰にでもその時がくることは避けられないことである。自分自身の中に援助者として目指すものが明確にあることが必要であり、看取りの過程に合わせたケアが求められることである。まず本人の「その人らしく」を大切にし、苦しみや不安を取り除いて日常生活が可能な限り継続出来る様ケア計画を組み立てることが大切である。次に家族一人一人の思いが実現出来るよう段階に応じて話し合いが必要なこと、「本人」・「家族」・「援助者」の思いが同じ方向でケアがなされていくこと、特に残される家族の思いの変化をしっかり受け止めてあげることが重要であると講義の中で話されました。誰もが経験のない状況の中、人生最後のプロセスに参加する意味、ターミナルステージへの考え方、身体整理への配慮、家族に対する状態変化に添った細かな説明の大切さが理解しやすい優しい言葉での講義でした。その方の人生最後の瞬間まで援助者としてケアをさせていただくこと、

残された家族の訪問をされ心のケアのされていることに感動しました。最後にマザーテレサの言葉「人をケアするという職業を選んだのではなく、生き方として選んだのだと思いなさい」この言葉は深く心に残り、改めて「生き方」として選んだという意識をしっかりと自分の核としてこれからの仕事に臨みたいと思います。

やよいの里 高橋 孝子



施設における終末期ケアの研修に参加して

9月24日、「みなみがた荘における看取り」と、「看取り介護加算について」の研修に参加させていただきました。

- ・ 導入期：サービス開始期、入所時に看取りについて話し、同意書に記入して頂き、変更も可能であると家族に伝える。
- ・ 安定期：願いを「形」にする。
- ・ 穏やかな衰弱期：
 - ・ 主観的な気づきから客観的な気づき
- ・ 看取りについて家族の希望を確認→再度、同意書の確認を行う。
- ・ 終末期をむかえる：
 - ・ 看取り介護開始→家族に意思確認をする→看取りカンファを行う。

☆ケアのポイント

- ・ バイタルチェックをする事で、家族に安心感を与える事ができる。家族に状態を伝える。
- ・ 栄養面では、食べたい物を食べたい時に食べれる量だけ食べてもらう。家族に依頼し、職員の前で摂取介助してもらう。

- ・ 苦痛の緩和として、発熱時、坐薬を使用する。
- ・ 行動前に、家族に説明し、同意をもらう。
- ・ 家族に説明した内容や、言われた内容等を記録に残し、随時の報告が必要。
- ・ 看取り終了後に、職員のみで、カンファをして、良かったことや、できていなかった事を話し合い、次につなげていく。という様な内容で聞かせてもらいました。最期まで、家族と共に、心安らかに過ごして頂ける様に援助する事、聞く力は残っているので、しっかり話しかける事の大切さを改めて感じました。今回の研修に参加して、看取りの流れや、気持ちの持ち方等がよく分かり、とてもいい勉強になりました。今後に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

たちばな苑 吉信 幸子

研修会報告

新人フォローアップ研修に参加して

今回の研修に参加し、改めて職場での職員間の連携、『チームワーク』がいかに大切かを学び考えることになりました。

初めに講演を聞き、チームとは何かを考えました。挨拶をしても、挨拶が返ってこない。相談しても、応じてくれない。自分はしているのに、相手は答えてくれない。人は見返りを求めがちです。しかし、『自分は正しい、相手が悪い』なんて言っても仕方がないと気付きました。相手を変えたいのなら、まず自分が変わらないと駄目です。今の自分が本当に正しいのか？相手のことを思い、今の自分を見直すことで、より良い人間関係は生まれ『チームワーク』は出来るのです。そして良質なケアへと変わり、施設全体に活気が溢れていくと思いました。一人で施設を見ているわけではありません。支えあい、フォローし合ってこそ、

施設は成り立つという事を考える事が出来ました。誰とでも、どの職種とでも意見を交わし議論し、利用者様一人ひとりのneedsに答えられる職場を目指します。その為には『まず関わり、知る』事が、とても大切なのです。

入社して半年が過ぎ、仕事にも慣れてきました。様々な人とコミュニケーションを図れるようになった今だからこそ、「思いやり」「感謝」「尊敬」の心を持ち、接していかなければならないと強く思いました。

研修で学んだことを今後に関わり、様々なことに挑戦していきます。尊敬する先輩が近くにいるので、近づけるよう日々精進し成長していきます。

なでしこ苑 松本 直也



ベトナム175陸軍病院視察
(8月27日)



南方民生委員研修
(9月2日)



吉備国短大ハンドマッサージ
(9月22日)



車椅子整備ボランティア
(10月6日)

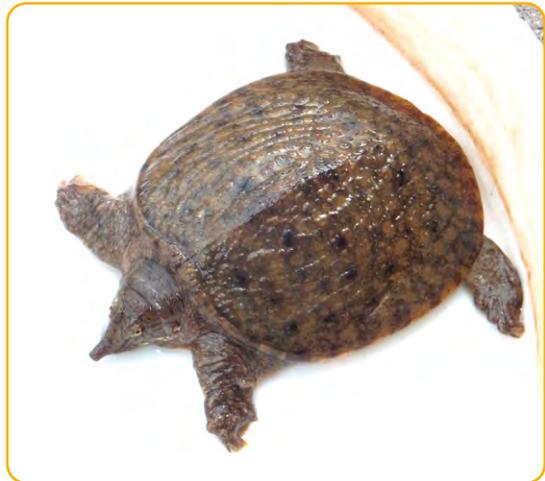




●『スッポン』(爬虫綱カメ目スッポン科キョクトウスッポン属)

農業用水路の掃除で出会った「スッポン(鼈)」をご紹介します。自宅近くの水路ではたまにイシガメ・クサガメを見掛けますが、スッポンを目にすることは近年では珍しく、童心に帰った気分で写真に収めました。スッポンは他のカメとは異なり、甲羅が柔らかい(英訳:Softshelled turtle)のが特徴で、天然のごく一部が本州南部、四国、九州に生息していますが、市場で見掛けるスッポンは養殖がほとんどです。

一般に「雷が鳴っても離さない」「一度食いついたら離さない」とよく言われ、凶暴な生き物のように思われますが、非常に臆病な



“H26.9.14:体長(甲羅)≒10cm



“棒に噛みつきぶら下がり”

性格で、物音がするとすぐに水中に逃げ込みます。噛みつく力が強く、近づく物には防御のために食いつこうとしますが、いったん水の中に戻せば泳いで逃げます。

2億年以上も昔から姿をかえることなく、天然では40~100年と長寿命で、その生命力は計り知れないパワーの源泉として信じられ、中国では4,000年の昔から食され、世界三大美女のひとり「楊貴妃」が好んで食べた宮中料理の薬膳としても使われた。日本でも古くから食され、関西では「まる鍋」と呼ばれ、スッポンの血をワイン等で割ったものを食前酒として供するなど高級料理とされている。今では、世界中でグルメとして食されています。



- ※ スッポンの由来：飛び込んだ時の音を表した説。いわゆる擬音語
- ※ 「月とスッポン」：甲羅と月は同じ丸なのに、美しい月とは似ても似付かない
- ※ 世界三大美女：クレオパトラ・楊貴妃・小野小町
- ※ 肉は低蛋白、低カロリーで、コラーゲン、必須アミノ酸、ビタミンが豊富
- ※ 乾燥させて粉末化したものが、精力剤、栄養ドリンク、健康食品の原材料
- ※ スッポン小町・・・健康補助食品の商品名
- ※ 心配無用：撮影終了後、「大きくなあ〜れ!」と念じ用水に放流しました。



自作の楊貴妃カクテル(焼酎の湯割り)?を傾けながら、不老長寿を夢見る毎日です!

やよいの里 服部 豊



暑〜い夏が終わった途端、朝夕の気温がドーンと下がりました。冬の到来ですが、その寒さも吹っ飛ばす勢いで熱く燃えているものがあります。それは、岡山が誇るサッカーチームファジアーノ岡山です。J2に昇格して5年。当初は下位の辺りをウロウロしていましたが、最近では徐々に力を発揮し、なんと今年はJ1昇格圏内に。ファジアーノ岡山がJ1に昇格すると、日本代表選手を有するサッカーチームの試合が岡山で観戦できます。サッカーファンにとっては最高の幸せ。みんなで応援をして岡山を盛り上げましょう。

みなみがた荘 山口 邦江

URL:<http://www.okasasei-life.jp>